

UMC4 レーザマーキングコントローラー

高度な USB ベースのレーザマーキングコントローラー

概要

UMC4 レーザコントローラーは、レーザマーキングシステム用に特別に設計された高性能 USB インターフェースです。スタンドアロンのマーキング機能のために、最大 16 ファイルを格納することができます。ユーザーは、I/O 信号を介してファイルを選択することができます。PLCヒューマンマシンインタフェース (HMI) をサポートし、マーキングタスクを簡単に実行できます。UMC4 は、レーザマーキングの世界における驚異的な製品です。



特徴

- スタンドアロンモードで自動テキストコンテンツをマーク。
- ヒューマン・マシン・インタフェースと接続。
ヒューマン・マシン・インタフェースでサポートされたカスタマイズのコンソールとの簡単な接続。
- 最大 16 ファイルを SD カードに保存可能。
- 一般的なレーザマーキングコントローラーとして PC と接続。



仕様

- サイズ: 120mm×117mm
- 消費電力: 5V 3A
- 内蔵 DSP では、マーキング・コンピューティングはコンピュータの CPU 時間をホールドしない
- 10MHz のリフレッシュレートで 1 つの XY2-100 デジタル出力信号を供給
- FPK、PPK、R05 ファーストパルス抑制モード
- 2 つの 10 ビットアナログ制御信号
- PWM 最大出力周波数: 10MHz; 最小パルス幅: 0.08 μ s
- スタンドアロンマーキングをサポート。最大 16 個のファイルを格納でき、それぞれに 8 セットのオートテキストと 8 種類のフォントを含む
- ヒューマン・マシン・インタフェース通信用の RS232 シリアルポート (三菱 FX2)
- マーク・オン・フライのアプリケーション用に 1 つのエンコーダ入力
- 1wayパルス方向または CW / CCW ステップ/サーボモータ制御信号をサポート、最大出力周波数は 2MHz
- 各種ドーターボード用の拡張ポートを供給
- Windows XP, Vista, 7, 8 をサポート